

2022 年（令和 4 年）度 事業報告書

2022 年（令和 4 年）4 月 1 日～2023 年（令和 5 年）3 月 31 日

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重は、三重県松阪市を中心として活動。

未来の子供たちが安全で安心して食せるおいしい作物づくりを中心とした真農業の推進と、地球環境にやさしいコミュニティを創造することを大目標に据え、コロナ禍の最中においても小規模ながら各種イベントを通じて活動理念の普及や賛同者を着実に得ることを目的に実施した。

環境セミナーを通じて、当会理念や活動に対する賛同者を得ることが出来た。

食育・食農イベントとして、大豆と米から育てる手前味噌づくり、夏野菜収穫とピザづくりワークショップ、納豆づくりワークショップ、湯葉づくりワークショップ、年末感謝祭を行い、農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない昔ながらの手作業による農作業の方法とそれによる環境保全効果、安全な食による健康効果、手作りの食と共食の楽しさ、今後の世の流れの中でのコミュニティ構築の重要性を伝えた。

環境セミナーとして「マザリーアースプロジェクトセミナー」を2回実施。主に当会拠点である大石町の住民の方々を対象に当会理念や活動を紹介し、賛同を得ることが出来た。

「大豆と米から育てる手前味噌づくり」では、地元産の完全オーガニック大豆と米（固定種・自家採取）を初夏に田植えし、それらを秋に手刈りで収穫、はざかけを行った。作物は自ら育てることが出来るという認識と、種の中に宿る生命の力を伝える事が出来た。また共同作業を通じて、効率の良さや支え合いといった効果が有った。2月には収穫した大豆と米を使用した手前味噌づくりワークショップを実施。生きた本物の味噌の健康効果を伝えて手作りの重要性への理解が広がった。

「納豆づくりワークショップ」および「湯葉づくりワークショップ」では、日本伝統の健康食である納豆と湯葉を家庭でも簡単に作れる方法を紹介。それぞれの健康効果と、市販のものとの食べ比べにより味の違いを伝えた。

「夏野菜収穫とピザづくりワークショップ」では、野菜ごとの収穫方法の違いや生の野菜本来の味を実践を通じて伝えた。小麦粉からこねてピザ生地を作る方法、包丁を使った事の無い子供たちに野菜の切り方指導、窯に薪火をくべてピザを焼く方法を伝授。完全オーガニックの食材を使用する事により、本物の食の味を伝えた。

「年末感謝祭」では、有機循環自然農法で育った完全オーガニックの餅米での餅つきと共食を実施。餅つきで昔ながらの食文化の体験を共有し、大自然の恵みに感謝する機会となった。

年間を通じて農作業ボランティアを募集し、参加者に有機循環自然農法による環境保全効

果と、安全・安心の作物づくりの方法と健康効果を伝えた。実際の農作業により、耕作放棄地問題解消の一助となった。

活動報告やイベント告知には、直接メール、電話、ホームページと SNS 等を利用。会員には不定期でメールニュースの配信も行った。また、イベントチラシを作成し、個人間で渡す等で利用した。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 食育を推進する事業。
- ⑦ 農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

2 事業の実施に関する事項（特定非営利活動に係る事業）

① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

（ア）事業内容

会の広報的情報発信を支援。

- ホームページ、SNS にイベント案内およびイベント報告を掲載。
- 会員および一般向けにメールマガジンを月 1 回配信。
- 他団体交流として、松阪市市民活動センターにイベントチラシ配布の協力を依頼。

（イ）WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

（1）開催日および講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	(1)受益対象者の範囲 (2)人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業	会の広報的情報発信 ホームページ、SNS、 メールマガジン等による情報発信	2022年(R4)4月1日 ～2023年(R5)3月31 日の期間で不定期に 実施	当会 事務所	2人	(1)当会活動に関心がある市民、会員 (2)不特定多数	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 2人)

総合計 0円

(3) 収益

総合計 0円

(4) 反省点・改善ポイント

活用を始める予定であった Instagram での発信が弱く、新たな広がりへの開拓が弱かった。YouTube の試験運用は開始に至らなかった。次年度以降、力を入れていく。

② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業

(ウ) 事業内容

環境セミナーとして5月14日に第6回マザリーアースプロジェクトセミナー、1月22日に第7回マザリーアースプロジェクトセミナーを実施。

(エ) 事業内容 環境セミナー

- 5月 第6回マザリーアースプロジェクトセミナーでは、アースアズマザーの紹介動画を放映した後、理事長の市川美奈より三重独自のマザリーアースプロジェクトの説明と活動紹介を実施し、賛同を得ることが出来た。当会愛知県本部副理事長であり当会理事の村野政章も交えて、参加者ととも大石町の未来について積極的な交流を行った。
- 1月 第7回マザリーアースプロジェクトセミナーでは、第6回同様、動画放映と理事長からのマザリーアースプロジェクト説明、活動紹介を実施。地域の方々に賛同と期待が広がり、当会プロジェクトの実施に関する具体的な提案を得られるなど、今後大石町で活動を展開するための重要な足がかりが築けた。

(オ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

(1) 開催日および講師等

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	(1)受益対象者の 範囲 (2)人数	事業費の額 (単位:円)
②自然再生と環境 の保全活動を支 援する事業 (環境セミナー)	第6回マザリーアース プロジェクトセミナー を開催。アースアズマザ ーグループの理念、活動 紹介。	2022年 (R4) 5月14日	当会事務所	3人	(1)当会活動に関 心がある市民、 会員 (2)10人	0円

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	第7回マザリーアースプロジェクトセミナーを開催。アースアズマザグループの理念、活動紹介。	2023年 (R5) 1月22日	当会事務所	2人	(1)当会活動に関心がある市民、 会員 (2)9人	760円
----------------------------------	--	------------------------	-------	----	-------------------------------------	------

(2) 総費用 (無償ボランティア 5人)

総合計 4,135円

(内訳)

- 第7回マザリーアースプロジェクトセミナー
 - ・広告宣伝費 (事業) 760円
- 建物減価償却
 - ・減価償却費 (事業) 3,375円

(3) 収益

総合計 5,700円

(内訳)

- 第6回マザリーアースプロジェクトセミナー
 - ・参加費 3,000円 (300円×10人)
- 第7回マザリーアースプロジェクトセミナー
 - ・参加費 2,700円 (300円×9人)

(4) 反省点・改善ポイント

マザリーアースプロジェクトの説明内容に関し、活動の進行具合に合わせて年々内容をブラッシュアップしていく必要性を感じた。



③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

本年度は実施せず。

④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

(カ) 事業内容

食農イベントとして、大豆植え付け体験、田植え体験、夏野菜収穫体験、稲刈り体験、大豆収穫体験を実施。

農事業として、農作業ボランティアの募集を実施した。

いずれの事業も松阪市大石町の田畑で行った。

(キ) 事業内容 食農イベント

○5月 「大豆植え付け体験」を実施。地元産の完全オーガニック大豆（固定種・自家採取）を植え付けた。体験を通じて、大豆は自ら作ることが出来るという認識と、種の中に宿る生命の力を伝える事が出来た。

○6月 「田植え体験」を実施。普段食べているお米を自ら植えるという体験を通じて、お米は自ら作れるという認識と自信を養える機会を提供出来た。また家族や仲間たちとの共同作業を通じて、効率の良さや支え合いといった効果が有った。

○8月 「夏野菜収穫体験」を実施。野菜ごとの収穫方法の違いを実践を通じて伝えた。その場で採れた野菜は生でも食べられるという事と、野菜本来の味を伝えた。

○10月 「稲刈り体験」を実施。6月に植えた小さい苗が大きく育った様子から、米の生命の力強さを参加者が実感。集団作業の中で子供たちが役割を發揮した事で、達成感で喜ばれた場面も有った。普段できない泥遊びにより日常のストレスの解消や、自然に触れる楽しさを体感する機会となった。

○11月 「大豆収穫体験」を実施。初夏に植えた大豆が大きくなった様子を通じて、生命の偉大さと成長の力強さを伝えた。大豆以外のマメ科との生育比較により植物の多様性を伝えた。

(ク) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食農イベント

(1) 開催日および講師等

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	(1)受益対象者の 範囲 (2)人数	事業費の 額 (単位：円)

④資源循環型・環境 保全型経済を推 進するコミュニ ティの構築事業 (食農イベント)	大豆植え付け体験 手作業による圃場整備 と大豆の播種、育成方 法の説明	2022年 (R4) 5月29日	松阪市大 石町内の 圃場	2人	(1)自然との共生 に、安全安心な食 育・食農に関心が ある市民、会員 (2)10人	1,012円
④資源循環型・環境 保全型経済を推 進するコミュニ ティの構築事業 (食農イベント)	田植え体験 手作業による田植え、 育成方法の説明	2022年 (R4) 6月12日	松阪市大 石町内の 圃場	2人	(1)自然との共生 に、安全安心な食 育・食農に関心が ある市民、会員 (2)7人	814円
④資源循環型・環境 保全型経済を推 進するコミュニ ティの構築事業 (食農イベント)	夏野菜収穫体験 手作業による夏野菜収 穫、説明、生野菜試食	2022年 (R4) 8月21日	松阪市大 石町内の 圃場	2人	(1)自然との共生 に、安全安心な食 育・食農に関心が ある市民、会員 (2)11人	2,389円
④資源循環型・環境 保全型経済を推 進するコミュニ ティの構築事業 (食農イベント)	稲刈り体験 鎌を使った手作業によ る稲刈り、はざかけ体 験	2022年 (R4) 10月22日	松阪市大 石町内の 圃場	2人	(1)自然との共生 に、安全安心な食 育・食農に関心が ある市民、会員 (2)13人	4,517円
④資源循環型・環境 保全型経済を推 進するコミュニ ティの構築事業 (食農イベント)	大豆収穫体験 鎌を使った手作業によ る収穫、天日干し体験	2022年 (R4) 11月13日	松阪市大 石町内の 圃場	2人	(1)自然との共生 に、安全安心な食 育・食農に関心が ある市民、会員 (2)13人	407円

(2) 総費用 (無償ボランティア 10人)

総合計 69,889円

(内訳)

●大豆植え付け体験	
・ 広告宣伝費（事業）	254 円
・ 消耗品費（事業）	198 円
・ 保険料（事業）	560 円
●田植え体験	
・ 広告宣伝費（事業）	254 円
・ 保険料（事業）	560 円
●夏野菜収穫体験	
・ 仕入（材料費）	1,886 円
・ 通信運搬費（事業）	73 円
・ 保険料（事業）	280 円
・ 支払手数料（事業）	150 円
●稲刈り体験	
・ 印刷製本費（事業）	50 円
・ 広告宣伝費（事業）	127 円
・ 消耗品費（事業）	4,060 円
・ 保険料（事業）	280 円
●大豆収穫体験	
・ 広告宣伝費（事業）	127 円
・ 保険料（事業）	280 円
●建物減価償却	
・ 減価償却費（事業）	60,750 円

（3）収益

総合計 47,450 円

（内訳）

◆大豆植え付け体験 参加費

・ 一般大人（中学生以上）	6,000 円（2,000 円 × 3 人）
・ 会 員	1,500 円（1,500 円 × 1 人）
・ 幼 児（未就学児）	0 円（無料 × 2 人）
・ 一般大人（中学生以上／味噌づくりシリーズ一括支払）	1,600 円（1,600 円 × 1 人）
・ 小 人（味噌づくりシリーズ一括支払）	

- 1,200 円 (1,200 円 × 1 人)
- ・会 員 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 2,600 円 (1,300 円 × 2 人)

◆田植え体験 参加費

- ・一般大人 (中学生以上) 2,000 円 (2,000 円 × 1 人)
- ・幼 児 (未就学児) 0 円 (無料 × 2 人)
- ・一般大人 (中学生以上/味噌づくりシリーズ一括支払)
- 1,600 円 (1,600 円 × 1 人)
- ・小 人 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 1,200 円 (1,200 円 × 1 人)
- ・会 員 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 2,600 円 (1,300 円 × 2 人)

◆夏野菜収穫体験 参加費

- ・一般大人 (中学生以上) 6,250 円 (1,250 円 × 5 人)
- ・会 員 3,000 円 (1,000 円 × 3 人)
- ・小 人 750 円 (750 円 × 1 人)
- ・幼 児 (未就学児) 0 円 (無料 × 2 人)

◆稲刈り体験 参加費

- ・一般大人 (中学生以上) 4,000 円 (1,000 円 × 4 人)
- ・小 人 1,000 円 (500 円 × 2 人)
- ・幼 児 (未就学児) 0 円 (無料 × 3 人)
- ・一般大人 (中学生以上/味噌づくりシリーズ一括支払)
- 800 円 (800 円 × 1 人)
- ・小 人 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 600 円 (600 円 × 1 人)
- ・会 員 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 1,300 円 (650 円 × 2 人)

◆大豆収穫体験 参加費

- ・一般大人 (中学生以上) 6,000 円 (1,000 円 × 6 人)
- ・会 員 750 円 (750 円 × 1 人)
- ・幼 児 (未就学児) 0 円 (無料 × 2 人)
- ・一般大人 (中学生以上/味噌づくりシリーズ一括支払)
- 800 円 (800 円 × 1 人)
- ・小 人 (味噌づくりシリーズ一括支払)

600 円 (600 円 × 1 人)

・会 員 (味噌づくりシリーズ一括支払)

1,300 円 (650 円 × 2 人)

(4) 反省点・改善ポイント

大豆収穫に関して、獣害対策が不十分であった為、シカ被害で収量が減少した。完全な対策が難しくとも、次回以降改善に努めたい。

**(ケ) 事業内容 農事業**

年間を通じて農作業ボランティアを募集し、参加者に有機循環自然農法による環境保全効果と、安全・安心の作物づくりの方法と健康効果を伝えた。実際の農作業により、耕作放棄地問題解消の一助となった。

(コ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事業**(1) 開催日および講師等**

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場 所	従事者 の人数	(1)受益対象者の 範囲 (2)人数	事業費の 額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型経 済を推進する コミュニティ の構築事業 (農事業)	農作業ボランティアの 募集 有機循環自然農法の普 及、耕作放棄地の維 持・管理	2022年(R4)4 月1日～ 2023年(R5)3 月31日の期 間で不定期 に実施	松阪市 大石町 内の圃 場	1日あ たり1 ～2人	(1)自然との共 生に、安全安心 な食育・食農に 関心がある市 民、会員 (2)延べ25人	2,350円

(2) 総費用 (無償ボランティア 2人)

総合計 2,350円

(内訳)

- 農作業ボランティア
- ・ 広告宣伝費 (事業) 2,350 円

(3) 収益

総合計 0 円

(4) 反省点・改善ポイント

アクティボでの宣伝により、広いエリアから新規ボランティア参加者が増えた。一方でチラシでの宣伝効果は上がりにくかった。インターネットの募集サイト、SNS などの活用で宣伝の強化を図る。リピーター獲得のため、参加者にメールマガジンを発信する。



⑤ 生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業

本年度は実施せず。

⑥ 食育を推進する事業

(サ) 事業内容

食育イベントとして、1 から作るピザづくり、納豆づくりワークショップ、湯葉づくりワークショップ、年末感謝祭、手前味噌づくりワークショップを実施。

(シ) 事業内容 食育イベント

○8 月 「1 から作るピザづくり」を実施。小麦粉からこねてピザ生地を作る方法、包丁を使った事の無い子供たちに野菜の切り方を伝授。土と稲わらで作ったアースオーブンに薪火をくべてピザを焼く体験により、自然のものだけで調理ができる方法を伝えた。完全オーガニックの食材を使用する事により、本物の味を伝えた。

○10 月 「納豆づくりワークショップ」を実施。日本伝統の健康食である納豆を家庭でも

簡単に作れる方法を伝授。また、完全オーガニック大豆の手作り納豆と市販の納豆との食べ比べを実施し、味と生命力の違いの大きさを体感する機会となった。

- 11月 「湯葉づくりワークショップ」を実施。湯葉を家庭で乾燥大豆から作る方法を伝授。慣行農法の大豆と完全オーガニック大豆の2種類で湯葉を作って食べ比べをし、味と生命力の違いの大きさを体感する機会となった。湯葉の薬膳的效果を資料を通して伝えた。
- 12月 大自然の恵みと本年度ご協力をいただいた方への感謝の想いを伝えるため、「年末感謝祭」を実施。有機循環自然農法で育った完全オーガニックの餅米での餅つきと共食を実施。餅つきで昔ながらの食文化の体験を共有し、薪を使った火おこし体験を通じて災害時でも対応できる方法を伝える事が出来た。また、活動拠点である松阪市大石町の住民の方々が多数参加され、当会の活動内容を伝えられる機会となった。
- 2月 有機循環自然農法で育った地元産の大豆および米こうじ（共に自家採取・固定種）を使用した「手前味噌づくりワークショップ」を実施。イベントの中で、生きた本物の味噌の健康効果を伝えて手作りの重要性への理解が広がり、日常でより簡単に効果的に取り入れられる一汁一菜の食し方を紹介した。

(ス) 食育を推進する事業 食育イベント

(1) 開催日および講師等

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な 事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	(1)受益対象者の 範囲 (2)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する 事業 (食育イベント)	1から作るピザづくり 地産の小麦粉でのピザ 生地づくり、包丁の使 い方指導、共食体験	2022年 (R4) 8月21日	当会 事務所	2人	(1)自然との共生 に、安心安全な食 育・食農に関心 がある市民、会員 (2)11人	2,982円
⑥食育を推進する 事業 (食育イベント)	納豆づくりワークショ ップ 家庭で出来る納豆づく り方法の紹介、オーガ ニック手作り納豆と市 販品との食べ比べ	2022年 (R4) 10月22日	当会 事務所	2人	(1)自然との共生 に、安心安全な食 育・食農に関心 がある市民、会員 (2)15人	457円

⑥食育を推進する事業 (食育イベント)	湯葉づくりワークショップ 家庭で出来る湯葉づくり方法の実践、オーガニック大豆の湯葉と市販大豆の湯葉との食べ比べ	2022年 (R4) 11月13日	当会 事務所	2人	(1)自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (2)13人	557円
⑥食育を推進する事業 (食育イベント)	年末感謝祭 完全オーガニック餅米の餅つきと餅まるめ、地元住民を交えた共食、郷土愛を歌う地元ミュージシャンのライブ	2022年 (R4) 12月11日	松阪市 大石町 谷集会所	5人	(1)自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (2)27人	8,315円
⑥食育を推進する事業 (食育イベント)	手前味噌づくりワークショップ 完全オーガニック大豆と米こうじを使用した味噌の仕込み、手前味噌の試食	2023年 (R5) 2月12日	当会 事務所	2人	(1)自然との共生に、安心安全な食育・食農に関心がある市民、会員 (2)13人	38,238円

(2) 総費用 (無償ボランティア 13人)

総合計 323,924円

(内訳)

●ピザづくりワークショップ

- ・仕入 (材料費) 2,556円
- ・消耗品費 (事業) 96円
- ・保険料 (事業) 280円
- ・支払手数料 (事業) 50円

●納豆づくりワークショップ

- ・印刷製本費 (事業) 50円
- ・広告宣伝費 (事業) 127円
- ・保険料 (事業) 280円

●湯葉づくりワークショップ

- ・印刷製本費 (事業) 150円

- ・ 広告宣伝費（事業） 127 円
- ・ 保険料（事業） 280 円

● 年末感謝祭

- ・ 仕入（材料費） 1,175 円
- ・ 印刷製本費（事業） 410 円
- ・ 広告宣伝費（事業） 310 円
- ・ 消耗品費（事業） 2,860 円
- ・ 賃借料（事業） 3,000 円
- ・ 保険料（事業） 560 円

● 手前味噌づくりワークショップ

- ・ 仕入（材料費） 32,230 円
- ・ 印刷製本費（事業） 240 円
- ・ 通信運搬費（事業） 1,000 円
- ・ 広告宣伝費（事業） 254 円
- ・ 消耗品費（事業） 2,954 円
- ・ 賃借料（事業） 1,000 円
- ・ 保険料（事業） 560 円

● 建物減価償却

- ・ 減価償却費（事業） 273,375 円

（3）収益

総合計 122,800 円

（内訳）

◆ ピザづくりワークショップ 参加費

- ・ 一般大人（中学生以上） 6,250 円（1,250 円 × 5 人）
- ・ 会 員 3,000 円（1,000 円 × 3 人）
- ・ 小 人 750 円（750 円 × 1 人）
- ・ 幼 児（未就学児） 0 円（無料 × 2 人）

◆ 納豆づくりワークショップ 参加費

- ・ 一般大人（中学生以上） 5,000 円（1,000 円 × 5 人）
- ・ 会 員 750 円（750 円 × 1 人）
- ・ 小 人 1,000 円（500 円 × 2 人）
- ・ 幼 児（未就学児） 0 円（無料 × 3 人）
- ・ 一般大人（中学生以上／味噌づくりシリーズ一括支払）

- 800 円 (800 円 × 1 人)
- ・小 人 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 600 円 (600 円 × 1 人)
- ・会 員 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 1,300 円 (650 円 × 2 人)

◆湯葉づくりワークショップ 参加費

- ・一般大人 (中学生以上) 6,000 円 (1,000 円 × 6 人)
- ・会 員 750 円 (750 円 × 1 人)
- ・幼 児 (未就学児) 0 円 (無料 × 2 人)
- ・一般大人 (中学生以上/味噌づくりシリーズ一括支払)
- 800 円 (800 円 × 1 人)
- ・小 人 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 600 円 (600 円 × 1 人)
- ・会 員 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 1,300 円 (650 円 × 2 人)

◆年末感謝祭 参加費

- ・一般大人 (中学生以上) 8,000 円 (2,000 円 × 4 人)
- ・会 員 7,500 円 (1,500 円 × 5 人)
- ・一般小人 1,500 円 (1,500 円 × 1 人)
- ・幼 児 (未就学児) 0 円 (無料 × 4 人)
- ・大石町民大人 (中学生以上) 3,000 円 (1,500 円 × 2 人)
- ・大石町民シニア (65 歳以上) 5,000 円 (500 円 × 10 人)
- ・大石町民小人 1,000 円 (1,000 円 × 1 人)

◆手前味噌づくりワークショップ

- ・参加費 一般大人 (中学生以上) 14,000 円 (2,000 円 × 7 人)
- ・参加費 会 員 3,000 円 (1,500 円 × 2 人)
- ・参加費 小 人 1,500 円 (1,500 円 × 1 人)
- ・参加費 幼 児 (未就学児) 0 円 (無料 × 1 人)
- ・参加費 一般大人 (中学生以上/味噌づくりシリーズ一括支払)
- 1,600 円 (1,600 円 × 1 人) ※当日欠席
- ・参加費 小 人 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 1,200 円 (1,200 円 × 1 人) ※当日欠席
- ・参加費 会 員 (味噌づくりシリーズ一括支払)
- 2,600 円 (1,300 円 × 2 人)

・材料代（米麴、大豆、塩）	42,600 円	$\left(\begin{array}{l} 3\text{kg分} \quad 2,500 \text{ 円} \times 12 \text{ セット、} \\ 1\text{kg分} \quad 850 \text{ 円} \times 1 \text{ セット、} \\ 14\text{kg分} \quad 11,750 \text{ 円} \times 1 \text{ セット} \end{array} \right)$
・材料代（米麴、塩のみ）	1,400 円	
	(3kg分 1,400 円 × 1セット)	

（４）反省点・改善ポイント

感謝祭の日程が地元の住民協議会イベントと重なり、地域からの参加者が少なかった。またこれまで感謝祭は年末に行ってきたが、寺の行事などで年末は参加者数が見込めない。次年度以降、地元住民を招きたいイベントは住民協議会、自治会等と日程調整の上、年末を避けて開催する。



⑦ 農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業

本年度は実施せず。

⑧ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

本年度は実施せず。

3 事業の実施に関する事項（その他の事業）

本年度は実施せず。

4 その他 費用

（１）事務局管理費

1 総費用

総合計 109,270 円

(内訳)

管理費の内訳

印刷製本費 (管理)	2,020 円
通信運搬費 (管理)	27,312 円
消耗品費 (管理)	7,545 円
広告宣伝費 (管理)	14,348 円
減価償却費 (管理)	37,500 円
租税公課 (管理)	18,050 円
支払手数料 (管理)	2,495 円

2 収 益

総合計 359,154 円

(内訳)

受取入会金	1,000 円
正会員受取会費	50,000 円
団体・企業受取会費	10,000 円
寄附金収入	34,150 円
受取助成金	0 円
受取補助金	0 円
寮使用料	264,000 円
受取利息	4 円

5 会議の開催に関する事項

(1) 通常総会

・開催日時及び場所

2022 年 (令和 4 年) 5 月 14 日 13 時 00 分～13 時 30 分

特定非営利活動法人アースアズマザー三重事務所

・審議事項

第一号議案 2021 年 (令和 3 年) 度 事業報告および決算報告について

第二号議案 2021 年 (令和 3 年) 度 監査報告について

第三号議案 2021 年 (令和 3 年) 度 寄附金報告について

第四号議案 2022 年 (令和 4 年) 度 事業計画 (案) および活動予算 (案) について

第五号議案 2022 年 (令和 4 年) 度 組織運営、役員選任 (案) について

第六号議案 その他

・総費用 (無償ボランティア 3 人)

総合計 2,070 円
(内訳)
印刷製本費 (管理) 2,070 円

・収益
総合計 0 円

(2) 理事会

第 1 回理事会

・開催日及び場所

2022 年 (令和 4 年) 4 月 27 日 18 時 00 分～20 時 00 分

(場所) 特定非営利活動法人 Earth as Mother 事務所

(愛知県名古屋市中区千代田 2-10-10-206)

・審議事項

第一号議案 2021 年 (令和 3 年) 度 事業報告および決算報告について

第二号議案 2021 年 (令和 3 年) 度 寄付金報告について

第三号議案 2022 年 (令和 4 年) 度 事業計画案および予算案について

第四号議案 5 月 14 日総会およびセミナーのスケジュールについて

第五号議案 その他